



城南町 島田地区

2017年7月、城南町島田地区の自治会長はじめ役員の皆さんから相談がありました。当時、島田地区では排水機場に注ぐ導水路の拡幅工事が予定され関係機関から地域への説明会が開かれました。

関係機関の説明によると、導水路に架かる橋は前後の道路に斜めにかかり、幅も狭く離合できない不具合な状況は工事後も変わらないとのこと。日頃生活用として利用している橋をこの際、拡幅、改良してもらえないかとの要望でした。



↳ 導水路整備と橋の改良について

早速、関わる複数の部署に対して地域の事情を私から説明し、また関係機関どうしで直接やり取りをしていただき着工目前ではありましたが要望をご理解いただいたのでした。

また工事箇所は難工事が予想されたためなかなか契約に至りませんでした。ようやく昨年からの工事がスタートし3月には完了の運びとなりました。

工事完了後は橋の幅も従来の**3mから4.1mに広がり離合もできる**ようになり、住民の皆さんの利便性も向上するでしょう。



蒲島県政 4期目の基本方針

蒲島知事は昨年4月当選を果たされましたが、直後からコロナ感染対策や県南豪雨災害対応で4期目の県政の基本方針策定に着手できませんでした。このたび知事の基本方針かつ県の最高規範である『新しくいくまもと創造に向けた基本方針』が策定されました（期間2023年度まで）。

方針では新型コロナウイルス感染症による危機を乗り越えるとともに、熊本地震、県南豪雨災害からの創造的復興を熊本の発展に繋げ、地方創生を実現するため、重点的に推進する主な取り組みの方向性が明らかになりました。

今後2月定例会等で方針を巡って議論が交わされます。

裏面を
ご参照下さい



浦島県政
4期目の
基本方針
参考資料

「新しくまもと創造に向けた基本方針（素案）」及び
「第2期熊本県まち・ひと・しごと創生総合戦略（素案）」（概要）

基本
理念

熊本地震と令和2年7月豪雨からの創造的復興を両輪に、新型コロナウイルス感染症による社会の変容を見据え、新しい「くまもと」を創造する。

基本方針

新しくまもと創造に向けた基本方針

総合戦略

第2期 熊本県まち・ひと・しごと創生総合戦略

1. 令和2年7月豪雨からの創造的復興

【取組みの方向性】
愛する地域で誰もが安全・安心に住み続けられ、若者が“残り・集う”持続可能な地域の実現を目指すとともに、県下全域においても災害に強い郷土づくりに取り組む。

《施策1》 被災者・被災地域の1日も早い復旧・復興に向けた取組み
《施策2》 県下全域で取り組む災害に強い郷土づくり

【主な取組み】
《施策1》
・被災者・被災地域の1日も早い復旧・復興に向けた取組み

《施策2》
・国土強靱化に向けた取組み（道路、河川等の整備・強靱化、地域防災力向上、企業等BCP等策定促進）・幹線道路の整備

【主なKPI（調整中）】
《施策1》
調整中

《施策2》
・幹線道路の整備進捗率
・土砂災害特別警戒区域からの住宅移転数

2. 新型コロナウイルス感染症を踏まえた対応

【取組みの方向性】
感染拡大防止と大きな打撃を受けた県経済や県民生活の回復とのベストバランスを図るとともに、社会の変容を好機と捉え熊本の更なる発展につなげる。

《施策1》 感染症対策の体制強化
《施策2》 持続可能な社会の実現
《施策3》 持続可能な経済活動の実現

《施策2》
・生活への支援、子供の居場所の確保、差別、犯罪の防止・Society 5.0の実現に向けたDXの推進
・熊本への人の流れの創出（関係人口、移住定住）

《施策3》
・企業や雇用の維持及び労働環境の整備（テレワーク、U・Iターン、多様な人材）
・新しいビジネスの創出（業態転換、事業承継、熊本型企業誘致）
・農林水産業の持続的発展（スマート化、担い手確保、ブランド力向上・販路開拓）
・新たな観光スタイルの確立（顔認証やMaaS等スマートツーリズム、ワーケーション等）

【主なKPI（調整中）】
《施策1》
・くまもとメディカルネ外ワークに参加している県民数
《施策2》
・子供の居場所の数
・効率化した県の業務数・県外からの移住者数
・U・Iターン就職者数
《施策3》
・外国人材受入人数（農業）
・企業立地件数
・農林水産物等の輸出額
・延べ宿泊者数

3. 熊本地震からの創造的復興

【取組みの方向性】
熊本地震からの創造的復興の総仕上げに向け、残された課題を確実に解決し、熊本の更なる発展につなげる。

《施策1》 暮らし・生活の再建
《施策2》 創造的復興の推進

【主な取組み】
《施策1》
・「すまい」の再建、被災企業の事業再建

《施策2》
・益城町の復興まちづくり（土地区画整理事業、県道熊本高森線4車線化）
・くまもとの誇りの回復と宝の継承（熊本城、震災ミュージアム）
・阿蘇地域の振興（アクセスルート全線開通効果の最大化、南阿蘇村立野・黒川）
・「大空港構想」の実現（魅力ある空港づくり、空港アクセス、UXプロジェクト推進）

【主なKPI（調整中）】
《施策1》 -
《施策2》
・益城町市街地部の人口回復率
・熊本と阿蘇の交通量回復状況
・UXプロジェクト参画企業・団体数

4. 将来に向けた地方創生の取組み

【取組みの方向性】
このような情勢下においても着実に進めていく必要がある施策について、必要性や優先順位を見極めながら地方創生の実現につなげる。

《施策1》 次世代を担う人材の育成
《施策2》 若者の地元定着と人材育成
《施策3》 安全、安心な社会の実現
《施策4》 魅力ある地域づくり

【主な取組み】
《施策1》
・きめ細かな教育による学力の向上、グローバル人材の育成

魅力ある学校づくり
《施策2》
・若者の地元定着（ブライタ企業、奨学金返還等サポート）
・産業人材の確保・育成（農林水産業、医療、介護、建設産業等）
《施策3》
・子供を安心して産み、育てられる環境整備・誰もが安心して暮らせる地域づくり・一人ひとりが尊重され自分らしく暮らせる社会の創造
《施策4》
・交通体系の最適化・持続可能な地域づくり・スポーツによる地域活性化（交通渋滞解消、CO2排出実質ゼロ、海洋プラスチックごみゼロ、有明海・八代海の海域環境改善）

【主なKPI（調整中）】
《施策1》
・全国学力・学習状況調査・中高生の英語力
《施策2》
・新規卒業者県内就職率
・農林水産業、医療福祉、建設業の（新規）就業者数
《施策3》
・結婚支援、不妊治療、早産予防に取り組む市町村数
・交通事故死傷者数
《施策4》
・地域づくり事業の取組件数
・再エネ100宣言REアクション参加数

